

保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください

- A : たいへんよい
 B : よい
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

保育所・こども園名 【福井認定こども園】

自己評価の観点		前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について			
① 会の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している		A	A
評価の根拠	職員会議の際には全員で保育理念や方針等、全員で唱和し、意識を高められるようにしている。		
今後の改善・充実	職員一人一人が園の保育・教育方針に沿って保育していることを自信をもって保護者にも伝えられるようにしていく。		
2. 保育について			
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている		A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している		A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している		A	A
④ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している		B	A
⑤ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している		A	A
⑥ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている		A	A
⑦ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています		A	A
⑧ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している		A	A
⑨ 保育についての話し合いをよくしている		A	A
⑩ 保育士自身が楽しんで保育をしている		A	A
⑪ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています		B	B
評価の根拠	コロナ禍ということもあり、より清掃、消毒等、衛生面への意識を高めている。		
今後の改善・充実	保育士の数も増え、役割を分担しやすくなったが、リーダーと若手がともに役割を担いながらやり方を伝え、保育の質をあげていく。		
3. 健康管理について			
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている		A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している		A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている		A	A
評価の根拠	保護者にも適切な情報を発信することで、早め早めの対応に協力が得られたことで、コロナにおいても感染者が出ていない。		
今後の改善・充実	事故防止指針についての勉強会を開き、改めて全員で周知し、事故防止に対する意識を高めていく。		
4. 行事について			
① 行事の種類や実施回数は適切である		A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		A	A
評価の根拠	コロナ禍において回数は減ったが、園児、保護者の安全を守りながら、適切な回数、内容での実施ができた。		
今後の改善・充実	今後も国や行政からの指示を守りながら、園児、保護者に喜んでいただける行事を実施していきたい。その為には、安全に配慮した計画を検討し全員で周知していく。		
5. 食育について			
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している		B	B
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている		A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている		B	B
評価の根拠	つくたての餅を食べる代わりにかき餅づくりを行うなど事故防止指針に沿って活動を見直した。		
今後の改善・充実	コロナ禍で、子ども達が会話を楽しみながら食べたり、保育士と一緒に食べながらマナーを知らせたりする機会は減ったが、場所の設定や環境を整えながら、食事の時間を楽しむ工夫をしていきたい。		
6. 運営について			
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。		A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている		A	A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である		B	B
評価の根拠	職員会議のやり方を見直し、若い保育士も気軽に意見を言うことができるように配慮した。		
今後の改善・充実	打ち合わせなどの回数をもう少し増やすなどしながら、全体への情報の周知がより速やかにできるようにしていく。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	A	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③ 事故や災害に適應できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	A	A
<p>評価の根拠 チェックリストに基づき、定期的に施設内外の安全点検や、清掃、消毒作業を行っている。</p> <p>今後の改善・充実 訓練等の実施後には反省点を次回の課題にした計画をたて、場合によってはマニュアルを見直していく。</p>		
8. 研修・研究について		
① 実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
② 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A
③ 研修報告を園内で実施している	A	A
<p>評価の根拠 研修計画に基づき、研修に参加できる体制を整えている。</p> <p>今後の改善・充実 実践研究など担当者だけでなく、園全体で取り組みについて理解、周知していくようにしていく。</p>		
9. 情報について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	B	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	A
<p>評価の根拠 個人情報の管理については、会議の折に園長から職員全員に周知している。また、一人一人が文章に署名し、守秘義務を守っている。</p> <p>今後の改善・充実 今後も各書類等を適切な時期に適切な方法で処理、管理していく。</p>		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A
<p>評価の根拠 チェックリストに基づき、定期的に施設内外の安全点検を行っている。</p> <p>今後の改善・充実 玄関ホール周りの掲示の仕方を工夫することで、園内に入ることができない保護者への情報を発信を工夫していく。</p>		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	B	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	B	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A
<p>評価の根拠 コロナ禍に配慮し玄関での密を避けできるだけ手短にお伝えし、コドモンでの発信を行っている。また直接お話しできない場合には、電話や後日時間を設けて対応するなど、できる方法で保護者と情報を共有している。</p> <p>今後の改善・充実 直接見たり、お伝え出来ない部分を、コドモンでの情報発信の仕方を工夫し保護者にわかりやすく伝えていく。</p>		
12. 開かれた保育所づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	A	A
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	A	A
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
<p>評価の根拠 コロナの感染状況により中止もあるが、日程は設定しており、子育て支援事業ができる体制を整えている。</p> <p>医療機関や専門機関との連携を図り、障がいのある子や気がかりのある子の支援に取り組んでいる。</p> <p>今後の改善・充実 個人の対応が園全体の印象に繋がることを一人一人が自覚し、職員一人一人が自身の行動をさらに意識していく。</p>		
13. 情報発信について		
① えんだより、すこやかねと等で、情報発信に努めている	A	A
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	A	A
<p>評価の根拠 ホームページやコドモンを利用し必要な情報の発信に努めている。行政を通じ行事や子育て支援の情報を地域に発信している。</p> <p>今後の改善・充実 コロナ禍で学校関係との直接交流ができない分、他の方法で園と小学校との交流を工夫していく。</p>		